

# 荒尾市制施行 70 周年

～夢をつないだ 70 年 さらに未来へ はばたけ荒尾～



政策企画課企画統計係  
 ☎ 63-1274  
 FAX 64-0940  
 arao-70th@city.arao.lg.jp

## 「しあわせ 優都 あらお」を目指して

荒尾史を振り返る⑤

三池炭鉱が閉山後、本市はあらおシティモールの整備、緑ヶ丘リニューアルタウン・東屋形土地区画整理などの住宅開発、工業団地の造成などの閉山対策に取り組み、石炭のまちからの転換を進めました。平成15年には『協働のまちづくり推進指針』を策定、そのモデル事業として『地域元気づくり事業』が始まりました。平成18年に始めた「2030あらお有明優都戦略」は、2030年には有明地域で「優都」になることを目標に、官民協働でさまざまな事業に取り組みました。平成21年、万田坑が「九州・山口の近代化産業遺産群」としてユネスコ世界遺産の暫定リストに登録されました。炭鉱のまち・荒尾の宝である万田坑の世界遺産登録を目指しています。そして昨年4月に市制施行70周年を迎え、時を同じくして策定した「第5次荒尾市総合計画」では『しあわせ 優都 あらお』という将来像を掲げ、総合的な政策を進めています。「2030あらお有明優都戦略」も、取り組みを追加したり、ディングプロジェクト「有明優都戦略」として動き出しました。荒尾市はますます進化を続けています。本市には、ラムサール条約登録湿地となった荒尾干潟や宮崎兄弟の生家、グリーンランド、小代焼、ジャンボ梨など、世界に誇れる「宝」が数多くあります。今後も熊本県の北の玄関口として、まちが歩んできた歴史を再認識し、今ある「宝」を最大限に活かしながら、住みやすく幸せを実感できる魅力あるまちづくりに取り組んでいきます。

## 巨大モザイクアートができるまで②



あらおシティモール「出会いの広場」に展示している巨大モザイクアートの制作には、たくさんの市民の皆さんに協力していただきました。その制作風景の一部をご紹介します。



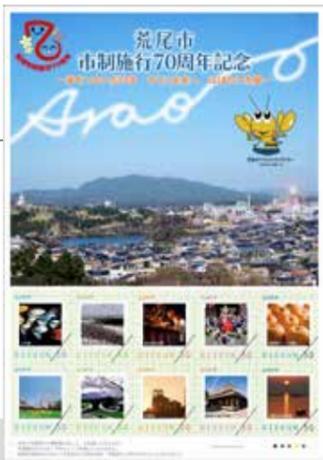
1\_有明高校。丁寧に作業しました。2\_緑ヶ丘小。みんなで力を合わせて作りました。3\_中央小。シートを合わせると絵柄が浮かびます。

## 荒尾市制施行 70 周年記念切手 残りわずか!

小代焼や干潟と渡り鳥、ジャンボ梨など荒尾らしさが詰まった切手。便りと一緒に切手で荒尾の魅力を届けませんか。▶

荒尾郵便局では、荒尾市制施行70周年を記念して、市の象徴的な風景・物産・お祭りなどをデザインした記念切手を制作しました。枚数が残りわずかとなっていますので、ぜひお買い求めください。

- 販売内容
  - ・切手シート状、50円切手×10枚 (右写真)
  - ・販売場所…荒尾郵便局
  - ・販売価格…1シート 900円
- 荒尾郵便局 ☎ 63-0339



# Town Topics

まちの話題

ARAO CITY

12/27

### 出動! ファイヤーチルドレン

～八幡地区 子ども消防団が夜警活動～

▶寒い中でも消防団員さんならに整列し、来賓の激励を受けました。



八幡地区協議会主催の子ども消防団夜警活動に、八幡小学校の小学生26人が参加しました。子どもたちは2班に分かれ、「火の用心 マッチ1本火事のもと」と呼びかけながら地区内を巡回しました。出発式で、来賓から「元気よく声を出して見回りをしてください」と励ましの言葉をかけられ、子どもたちは「はい!」と力強く答え、元気に夜警に出発しました。

寒い中での巡回が終わった後は、地元の消防団が作った豚汁で温まりました。

12/27

### 荒高ラグビー部、花園で活躍!

～全国高校ラグビーフットボール大会出場～

▶雨の中、スクラムを組む選手たち。(30日の試合。写真提供/荒尾高校)



荒尾高校ラグビー部は、第92回全国高等学校ラグビーフットボール大会に2年ぶり6回目の出場を果たしました。1回戦(27日)では富山県代表の富山第一高校に43-7で快勝し、選手たちは初戦突破の達成感と安堵感に笑顔を見せました。2回戦(30日)は京都府代表の強豪・伏見工業高校に0-34で残念ながら敗れましたが、荒高フィフティーンのは活躍は、新聞・テレビなどで大きく取り上げられ、郷土・荒尾に明るい話題を届けてくれました。

1/13

### いろんな野鳥が飛び交う荒尾海岸

～荒尾海岸(蔵満)で探鳥会～

▶夢中で観察し、寒さも忘れそうでした。次回は4月に開催されます。



日本野鳥の会熊本県支部主催の探鳥会(バードウォッチング)は、蔵満海岸で開催されました。およそ30人が参加し、野鳥の会会員の指導のもとで海岸で見られる野鳥を観察しました。

渡り鳥が大群で飛ぶ姿は見られませんでした。参加者は鳥を見かけると野鳥の会会員に名前を聞いたり、双眼鏡で観察してガイドブックで確認したりしていました。この日は、シロドリやハマシギの他、ハヤブサやミサゴなど、32種類の鳥が観察できました。

荒尾市制施行70周年記念事業

## 70文字の愛ことば

「な〜ん言ひよつと、まさか呆けよると?」のお言葉。そげんこと聞かれても、呆けよるとが自分で分かるなら世話なかない。まだ呆けとらんはず、ご心配いりません。

娘へ

母

田吹芽久美さん(倉掛区)

●70文字で、あなたの「愛ことば」を大切な人に伝えませんか。応募する場合は、作品と一緒に名前・住所・年齢・電話番号を書いてください。掲載前にご連絡します。  
 「応募先」〒864-8686(住所不要)  
 荒尾市役所秘書広報課広報係(電話・FAX・メールでも可)  
 ☎ 63-1157 FAX 63-1145  
 Eメール koch@city.arao.lg.jp